

3月度議員懇談会

観光を軸にした三国湊の活性化について懇談



3月度議員懇談会を3月1日11時より福井商工会議所ビルにて開催し、議員68名が参加した。

開会にあたり八木会頭は、2月19日に杉本達治福井県知事から、積極的に賃上げに取り組んでほしいと経済界に対し要望があったことを報告。企業収益の回復度合いには規模・業種等で濃淡がある一方で、給与引き上げは経営者の使命であることを踏まえ、新たな付加価値創造に挑戦することが重要であり、商工会議所としても伴走した支援を展開していきたいと意気込みを新たに示した。

また、3月16日に北陸新幹線福井開業を控える中、先だつて試乗会に参加



開会の挨拶を行う八木会頭

したことを振り返りながら、「今後どのように新幹線の席を埋めていくかが経済界として重要な課題であり、継続的にお客様を呼び込んでいく方策を考える必要がある」と呼びかけた。

能登半島地震に関連しては、義援金への呼びかけに対し、議員企業からの支援に感謝を示した。加えて、2月19日から22日にかけて、経営相談の応援として当所の職員2名を輪島市に派遣したことについて触れ、現地では事業者から多くの相談が寄せられたことや、現地の惨状を踏まえ、今後の復興フェーズごとに、持続的な支援を行っていききたいと述べた。

続いて卓話に移り、株式会社Actbase（アクティブベース）ふくいの樋口佳久代表取締役社長より「観光を軸にした三国湊の活性化」と題して講演が行われた。

まずは、事業内容の説明が行われ、三国が持つ街並みや文化、伝統、自然などを活かした宿泊事業や、街並み整備事業等が示された。

核となる事業として、三国の町家を活用して分散型ホテルとした「オーベルジュほまち三国湊」を展開しており、歴史ある建物をリノベーションした客室やレストランを設け、安らぐ空間を創り上げているなどの取り組みが紹介



三国湊エリアでの活動について述べる樋口氏

された。また、三国の伝統や歴史を味わうアクティビティ、街の魅力を活かす景観整備の取り組みも紹介された。樋口氏は、自身たちの事業について、

観光を通じた地方創生、誘客モデルとしたいという事業背景を示し、「自分たちが三国の街を変えたいという期待を地域に与えることで、住民の信頼を得ながら、様々な価値を地域に提供し、地域の社会課題解決に向けて協力しながら活性化を図っていきたい」と述べた。

最後に、国内外からの三国湊エリアのブランド化や地域の存続・発展を目指すしていくという目標を示して締めくくった。